



「令和の時代に新たな活動を」



会長
東原 勤

このたび、令和元年度の役員改選におきまして会員の皆様からのご推挙により、前期に引き続き会長に就任いたしました束原でございます。

長い歴史と輝かしい伝統を持つ宇都宮市老人クラブ連合会の会長職を務めさせていただくこととて大変光栄なことではありますが、老人クラブの活動や役割が今後ますます期待される中、事業を着実に進めていくことに改めて責任の重さを痛感しているところであります。理事をはじめ代議員、地区連絡協議会長、単位クラブ会長のご協力をいただき、全力を尽くす決意であります。会員の皆様のご支援を心からお願ひ申し上げます。

さて、今年度は新元号「令和」になって初めての年度であります。当連合会は、昭和40年に設立以来、54年が経過し、元号も「昭和」、「平成」、「令和」と歴史をきざんできたところであり、その間「生活を豊かにする楽しい

活動」や「地域を豊かにする社会活動」につきまして、それぞれの時代に即した事業を会員の皆様とともに展開してまいりました。

しかしながら近年では、当連合会の会員数が減少傾向にあり、会員確保に積極的に取り組むことが急務となっております。

当連合会といえども、活動内容を広く知っていただくため、老人クラブの魅力をさらにアピールしていかなければなりません。

また、本市におきましては、地域包括ケアシステムの構築を目指しており、当連合会も新地域支援事業の担い手として、会員のみならず地域の高齢者による支援の輪を広げることも考えていかなければなりません。

これまでも、当連合会は、「健康・友愛・奉仕」を基本に、地域で助け合い・支えあい活動を行ってきました。今後その基本は変わることがありません。会員の皆様にも、一層のご協力をお願いいたします。

結びに、当連合会の益々の発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

令和元年度の新役員体制

今年度は、当連合会の役員任期満了による役員改選がありました。

5月31日の定期総会で、16名の理事と2名の監事が選任され、同日開催された新理事による理事会で、泉が丘地区の加藤勲氏、富士見地区の桶田正信氏、昭和地区の清水孝一氏の3名が、新たに副会長に就任されました。

役職	氏名	地区
会長	東原 勤	上河内
副会長	黒後 敏一	横川
副会長	(新任) 加藤 勲	泉が丘
副会長	(新任) 桶田 正信	富士見
副会長	(新任) 清水 孝一	昭和
理事	(新任) 小島 貞夫	西
理事	(新任) 中野目 勝美	東
理事	(新任) 佐藤 新一	石井
理事	齊藤 正行	峰
理事	(新任) 木村 務	戸祭
理事	(新任) 小野寺 七十六	明保
理事	(新任) 関原 達郎	雀宮
理事	佐藤 孝	陽光
理事	(新任) 白坂 喜美雄	河内
理事	(新任) 小保方 弘	国本
理事	(新任) 塚田 雄一	専務理事
監事	(新任) 瀧澤 洸	姿川
監事	(新任) 小林 正典	市高齢福祉課長

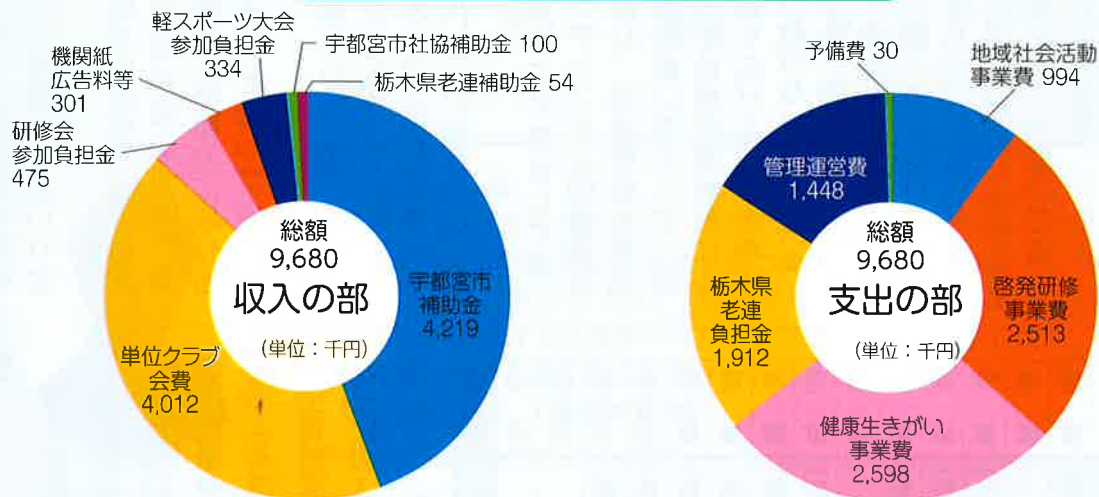
令和元年度の主な行事



月	日 時	行 事 名	場 所
6	18日(火) 午後 2時00分	東部ブロック別会議	清原地区市民センター
	19日(水) 午後 2時00分	北部ブロック別会議	河内地区総合福祉センター
	20日(木) 午後 1時30分	中部ブロック別会議	宇都宮市総合福祉センター
	21日(金) 午前10時00分	西部ブロック別会議	城山地区市民センター
	24日(月) 午後 2時00分	南部ブロック別会議	瑞穂野地区市民センター
8	23日(金) 午前10時30分	軽スポーツ大会(輪投げ大会)	宇都宮市体育館
	30日(金) 午後 1時30分	第1回女性研修会	宇都宮市総合福祉センター
9	3日(火) 午前 9時30分	軽スポーツ大会(ペタンク大会)	きよはら水辺の楽校
	6日(金) 午前 9時30分	// (グラウンドゴルフ大会)	屋板運動場
	13日(金) 午後 1時30分	第2回女性研修会	宇都宮市総合福祉センター
	20日(金) 随時	老人クラブ社会奉仕の日	市内各地
	25日(水) 午後 1時30分	老人クラブのつどい(式典・演奏会) ※詳細は8ページをご覧ください。	宇都宮市文化会館小ホール
10	9日(水) 午前 9時45分	県老連スポーツ大会	真岡 井頭公園
11	8日(金) 午後 1時30分	第3回女性研修会	宇都宮市総合福祉センター
	13日(水) - 15日(金)	老人クラブのつどい(作品展示会)	宇都宮市文化会館展示室
	14日(木) 午前10時30分	// (サークル活動発表会)	// 小ホール
3	1日(日) 随時	老人クラブ社会奉仕の日	市内各地

※詳細につきましては、内容が決まり次第、地区連会長を通じてお知らせいたしますが、諸般の事情により、日程・内容等が変更になる場合があります。

令和元年度の予算内容



宇都宮市老人クラブ連合会 クラブ数と会員数の推移

年 度	クラブ数 (対前年度比)	会員数 (対前年度比)
平成27年度	324クラブ (96.1%)	18,739名 (97.1%)
平成28年度	325クラブ (100.3%)	18,506名 (98.8%)
平成29年度	315クラブ (96.9%)	17,847名 (96.4%)
平成30年度	308クラブ (97.8%)	17,378名 (97.4%)
令和元年度	301クラブ (97.7%)	16,824名 (96.8%)

“クラブづくりは、仲間づくりから” おいちよう宇都宮地区活動だより



御幸地区

安心して住める地域づくりを

御幸地区老人クラブ連絡協議会

会長 榎本 三千男

当地区は、J・R宇都宮線と平出工業団地の間に位置し、中央を国道4号線（奥州街道）が通っている地域です。

5つの単位クラブで構成され、300余名の会員がクラブ活動に取り組んでいます。会員一人ひとりが健康で安心して住める地域づくりを目標に、日々、様々な活動を行っています。

特に、健康づくりにおいては、5月の輪投げ大会、6月の歩け歩け大会・グラウンドゴルフ大会、9月の運動会などを実施し、体を動かして汗を流しながら、仲間との交流を図り、お弁当を食べながらの談笑では、これまで生きてきて良かった、健康で良かった、の一言です。

歩け歩け大会では、交通量の少ない道路を選び3キロのコースを設定しますが、途中、鬼怒中学校のご好意で、日曜日にも関わらずトイレを貸していただき、平出雷電神社に参拝した際は、健康と長寿をお願いするため、全員が社殿に上がってお祈りを受け、平出緑地公園まで戻りました。

道中、鬼怒地域包括支援センターの看護師さんと同行していただくなど、多くの方々にお世話になりながら、無事に終了することができました。

これからも、現在実施している各種行事を継承発展させながら、多くの会員が参加する事業に取り組むことにより、地域住民の方々の理解をいただき、会員の加入促進に繋がっていきたく思っています。



御幸小校庭にて輪投げ大会



歩け歩け大会ゴールの緑地公園



運動会開会式



緑地公園にて昼食会



運動会の一コマ

交流広場



出来る限り多くの会員が参加出来るように

今泉地区 宿西福寿会 会長 小谷 肇

私たち宿西福寿会は今泉地区内最大の老人クラブで、会員数96名を擁する組織です。活動方針は、出来る限り多くの会員が参加出来る事業に取り組むことです。

○地域の自治会で実施されているサロンに多くの会員が参加し、囲碁、将棋、簡易食事会等を通じて会員相互の交流を図るとともに、会員の加入促進を進める。

○健康で長生きを目的に、簡易体操会、グラウンドゴルフ(2会場で毎週2回)、輪投げ、カラオケ大会を実施。

○自分たちの住む地域の環境美化を図るため、道路の清掃、公園や遊歩道の除草、落ち葉拾い等のボランティア活動を実施。

○小学校児童を対象にした昔遊びの指導(お手玉、あや取り、独楽回し、竹馬乗り等)と戦争体験談を実施。戦争体験者が少なくなってきたこともあり、戦後の食糧難の話も交えることとした。



ありがとうございました

宇都宮市立今泉小学校
2年生一同

昔遊び指導



輪投げ大会

町内会活動との協働事業の推進

姿川地区 旭ヶ丘福寿会 会長 中尾 忠治

私たちのクラブは、平成4年4月に発足して27年が経過。現在の会員数は94名、平均年齢74歳と比較的若く、事業を実施するにあたっては、会員が笑顔絶やさず「楽しく、仲よく、明るい活動の実践」を目標としています。

フットボール、体育祭には、自治会名入りの統一ユニフォームを着用して参加し、会員の参加意識の高揚に努め、まちづくり協働事業を盛り上げています。

事業毎に部会長を決め、グラウンドゴルフ、輪投げ、全会員対象の「だんらんの日」(誕生会、懇親茶話会)、ウォーキングを兼ねたバス旅行等を実施しています。

奉仕活動等への参加者は全会数の半数近くあり、自治会や育成会との協働事業にも積極的に参加しています。

1月には新春コンサートを開催、4月の塚山古墳群での花見会「旭ヶ丘まつり」では100名を越える参加者があり、楽しい歓談や世代間交流が図られています。

また、姿川地区の行事である輪投げ、バレーボール、ソ



姿川地区輪投げ大会



花見会「旭ヶ丘まつり」

ふれあい



伝統行事をクラブ会員でつなぐ 平石地区 上柳田寿老人会 会長 五月女 幸夫

私達の地域は、鬼怒川に隣接する自然豊かな昔ながらの田園地帯です。

地域内にある柳田緑地運動公園は、宇都宮市の天然記念物「クロコムラサキ」の生息地としても知られており、休日には、野球やサッカー等で運動公園に訪れる人も多く、人と自然の触れ合える貴重な場所でもあります。

上柳田寿老人会の会員は、このような自然環境に恵まれた中で、様々な活動に取り組んでいます。独自の取り組みとして、11月と2月の年2回、念仏講があります。

念仏講は、祭事として自治会から支援をいただき、運営は寿老人会の会員が行っています。

百万遍と言う念仏を唱えて数珠を百回まわし、その後、女性たちが和讃を唱えます（西国三十三所御詠歌）。そして、最後に各戸に配る念仏講の御札を刷って終了となります。

昔は、毎月、各家の持ち回

りで行っていたそうですが、これからも伝統のある念仏講を継続していくため、会員が協力し合いながら取り組んでいきたいと思えます。



和讃（西国三十三所御詠歌）



百万遍数珠まわし

白鷺会の活動について

富士見地区 白鷺会 会長 鈴木 恒雄

当クラブの地域で区画整理が行われ、世帯数・児童数共に増加し、近くに造成された「おおぞら公園」は、私たちの活動の拠点となっています。

社会奉仕活動で定期的に実施しているのは、月1回の道路清掃作業で、夏休みのラジ才子操最終日には、自治会・子供会との合同での河川・道路清掃を実施しています。

会員の健康づくりとして取り組んでいるのは、週1回、おおぞら公園で実施しているグラウンドゴルフの練習、そして、月2回、中央公園で実施している散歩会で、毎回、多くの会員が参加しています。

子供会との連携事業として、毎年9月、おおぞら公園で、グラウンドゴルフと輪投げの試合を実施しています。

自治会との交流事業で会員が一番楽しみにしているのは、年2回招待される「ソバ会食会」で、当クラブの副会長には自治会長に就任してもらっており、自治会との密なる関係を保つことにより、円滑なクラブ運営が続いています。



ソバ会食会



グラウンドゴルフ練習

奉仕活動で豊かな地域づくりを

「老人クラブ社会奉仕の日」

老人クラブ活動の一つである奉仕活動は、自ら率先して実践するものであり、会員の皆様には、年間を通じて取り組んでいただいております。

当連合会でも、会員自らが地域を豊かにする社会活動に積極的に参加するために、年3回の奉仕日を制定し、市内一斉に取り組むこととしています。

この活動は、昭和60年に栃木県で開催された全国老人クラブ大会の中で、神奈川県老連の参加者から「9月20日を『全国一斉の老人クラブ社会奉仕の日』としてどうか」という提案が出されたことによるもので、当時は、9月15日が敬老の日であったため、その感謝の意味を込めて全国一斉に社会奉仕活動を行い、老人クラブ会員の意識を高めるとともに、見える形での地域社会活動に取り組むことで、老人クラブの活動を広くPRしようとするものであります。

栃木県老連では、更に栃木県民の日である6月15日を加

令和元年6月15日の活動状況

活動項目	参加クラブ数	参加会員数
清掃・美化	148クラブ	2,177名
道路の除草等	34クラブ	632名
花壇づくり	14クラブ	217名
友愛訪問	4クラブ	48名
地域巡回	1クラブ	15名
その他	3クラブ	49名

え取り組むこととしており、当連合会でも、単独で3月の第1日曜日を市内一斉の奉仕日として制定し、合計年3回の制定日としているものであります。

当活動は日頃の地道な活動の積み重ねが大切で、この活動を通じて豊かな地域づくりを進めることにより、会員自らの生きがいを高めるとともに、老人クラブが地域の担い手として認識されますよう、今後とも会員一丸となって取り組んでまいりましょう。



宮原4丁目長寿会 (宮の原地区)



泉西若竹会 (泉が丘地区)



本丸東部旭寿会 (中央地区)



西の宮豊悠会 (城山地区)



雀の宮下町寿会 (雀宮地区)



江曾五元気会 (陽光地区)

ブロック別会議で情報・意見交換

令和元年度のブロック別会議を左記のとおり開催しました。

ブロック	開催日	会場	参加クラブ
東 部	6月18日	清原地区市民センター	63クラブ
北 部	6月19日	河内総合福祉センター	76クラブ
中 部	6月20日	宇都宮市総合福祉センター	32クラブ
西 部	6月21日	城山地区市民センター	58クラブ
南 部	6月24日	瑞穂野地区市民センター	72クラブ



西部ブロック



中部ブロック



東部ブロック



南部ブロック



北部ブロック

今年度のブロック別会議では、栃木県老人クラブ連合会の白根沢彰事務局長に「地域社会における老人クラブの意義と有効性」について講話をいただき、老人クラブがこれからの「支え合社会」に携わっていくためには、自分たちの健康寿命を如何に延ばすかが重要で、老人クラブ活動を通じて「社

当会議は、市内39地区を自治会と同じ地区割の中・東・西・南・北の5ブロックに分け開催しているもので、各クラブの会長等が参加し、宇老連の組織体制や事業内容等について協議するほか、情報提供や意見交換等を行っています。

「会参加」することによりそれが実現することを地域住民にPRしていくことが大切です、と話されました。また、各地区連や単位クラブの現状等が報告される等、効果的な情報交換が図られました。

編集後記

6月25日、新広報部会員7名と事務局職員が福祉センターに集まり、機関紙「いちよう30号」の編集会議を行いました。

新年度の発行ということもあり、掲載項目と記事の内容については、大半を事務局にお願いしました。2回目の部会では、ゲラ刷りを点検、校正し、意見を交え、次号の発行に備えました。

機関紙の役割は、宇老連の活動状況と今後の方向性をお伝えするものです。

今後は、読み易い紙面づくりはもちろんのこと、関心を持っていただける記事を掲載するべく、活性化委員会等とも協力して紙面を充実させていきたいと思います。

会員の皆様の機関紙「いちよう」に対するご感想、ご提案をお寄せください。

(阿部 靖)

令和元年度、当連合会の役員と部会も新体制でスタートしました。

事業計画の重点事業は概ね例年どおりですが、超高齢社会における重点課題を紹介させていただきます。

○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるまちづくりへの活動を展開する。

○医療・介護、予防、住まい、生活支援、認知症対策が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」へ参画する。

○老人クラブ組織が地域住民の期待に応えて、各種団体とのネットワークの充実を目指し、地域の「担い手」となる。

会員の皆さんで一致協力して取り組んで参りましょう。

(小川明志)

「第12回宇都宮市老人クラブのつどい」

とき

9月25日(水)

入場無料

ところ

宇都宮市文化会館 小ホール

第1部 式典 午後1時30分～

宇老連会長表彰及び感謝状贈呈

- ・優良老人クラブ表彰
- ・老人クラブ育成功労者表彰
- ・加入促進運動表彰 他

第2部 演奏会 午後2時30分頃～

エレクトーン演奏 倉沢大樹さん



プロフィール

6歳からクラシックピアノ、16歳でエレクトーンとジャズピアノを始められ、1993年シンガポールで開催された第30回インターナショナル・エレクトーン・フェスティバルに日本代表として出場し、21か国約7万人の中からグランプリを受賞されました。現在は、全国各地でのコンサートのほか、アレンジャー、ジャズ・ピアニストとして活躍中です。

日本の歌メドレー（花、夏の思い出など）、美空ひばりメドレー、上を向いて歩こう等、会員の皆さんが良く知っている曲を中心に、楽しい演奏を聴かせてくれます。ぜひ、お誘い合わせのうえご来場ください。

(ご注意)①演奏会のみに来場される場合は、第1部の式典が終了するまでは会場内に入ること出来ません。

②文化会館小ホールの定員は500名です。満席の場合は会場内に入ること出来ません。あらかじめご容赦願います。